京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM
「『生きる』教育」プロジェクト

単元「10 歳のハローワーク」 の概要
教材・教具 準備の手引き

はじめに

単元「10歳のハローワーク」には、自分自身の過去・現在・未来について考え、友だちとの話し合いを促進する仕掛けをふんだんに盛り込んでいます。この仕掛けの要になっているのが、視覚的に理解を助ける教材・教具の数々です。ここでは、本単元に使用する教材・教具をどう準備すればよいのかご説明します。

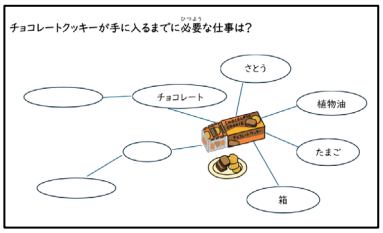
※教材データのダウンロードは、下記 URL・右記 QR コードのサイトをご利用ください。
https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/ikiru/

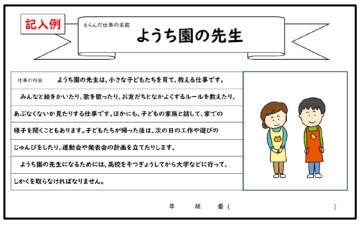
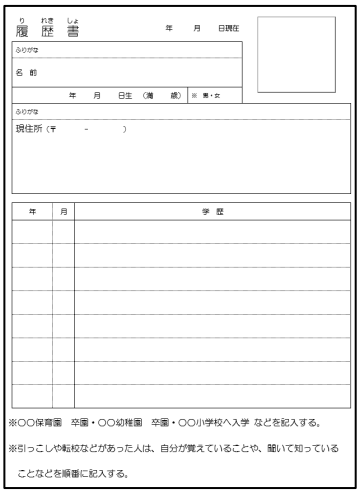
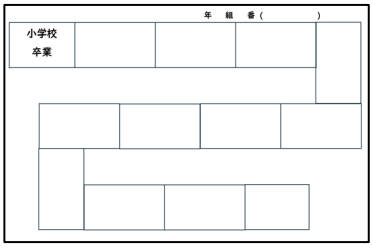
各教材・教具の準備

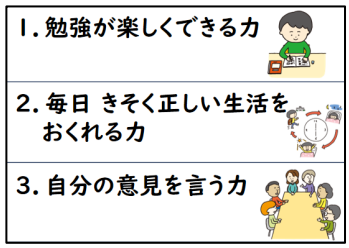
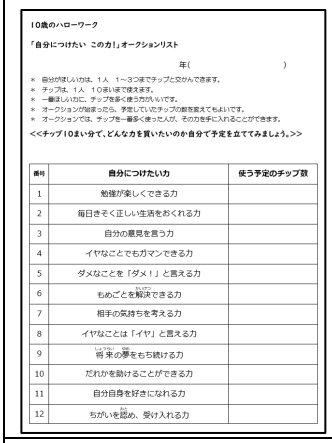
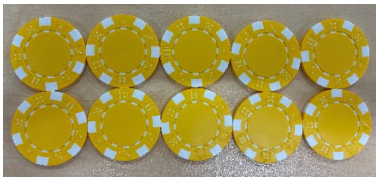
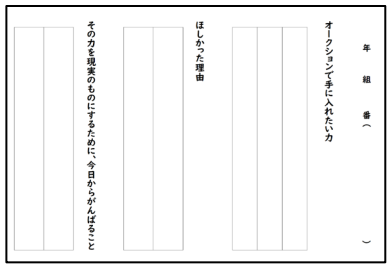
〇単元全体で使う教具

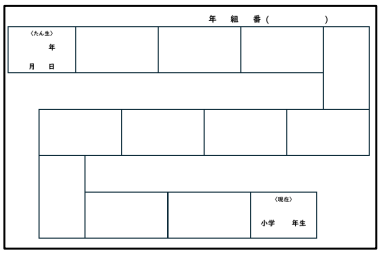
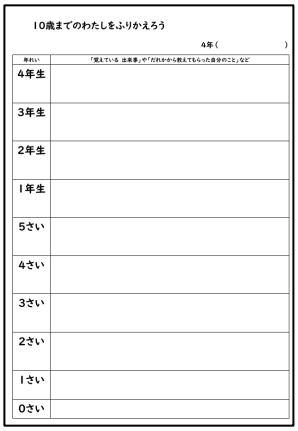
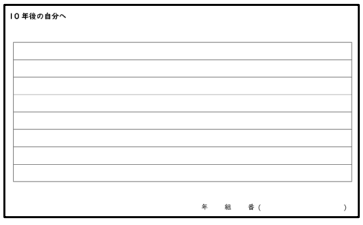
ファイル名	準備方法
0−1．授業用スライド	単元指導案と照らしつつスライドを確認し、授業の準備をしてください。指導案・スライドについては、先生方の目標や子どもたちの実態に合わせて変更していただいても差し支えありません。 【教師用】
0−2．教具集	本単元で使用する教具をまとめたファイルです。ページ指定で印刷するなどしてご利用ください。必要に応じて、ラミネート加工してください。

〇各時間で使用する教具

ファイル名	準備方法
1−1．「チョコレートクッキーが手に入るまで」ワークシート  	1つのお菓子を売るために、どれだけの職業が関わっているのかを考えるためのワークに用います。実際の商品パッケージなどと併せて使うとより効果的です。例として、チョコレートクッキーの場合のワークシートを用意していますが、Word ファイルをダウンロードしていただき、写真やイラストを挿入すれば、別のものを取り扱っていただくこともできます。 【必要部数】 各班に 1 枚 (A3 に印刷)

1-2.　職業調べプリント  	インターネットや図書室の本などで職業調べを行い、その仕事内容や生活、就職までの道のりを調べて発表する際に使います。授業内で扱う時間がなければ自宅課題として授業外学習の時間に取り組んでいただくことも可能です。タブレット端末上で共有・編集しやすいように Word ファイルと PDF ファイルを用意しています。 【必要部数】 各児童に1枚（A4 に印刷）
2-1．履歴書ワークシート  	自分自身について言葉で表現する練習を行うためのワークに用います。名前や将来の夢の他に自己アピールとして「頑張っていること」や「今、困っていること」などを記入する欄を設けています。各児童が「クラスメートに知られてもいい範囲」で記入し、自己開示度合いを自身で選べるように5つのトピックから2つを選んで記入できるようにしています。 【必要部数】 各児童に 1 枚 (2in1 設定で B4 に印刷)
2-2.　ふせん	面接終了後、面接相手にメッセージを記入するためのふせんです。相手に対して思いやりを持ったあたたかなメッセージを贈り合う、という意味も込めて、暖色系のふせんの使用やハート型のふせんの使用を推奨していますが、特に指定はありません。 【必要部数】 1 回の面接につき、各児童に 1 枚
3-1．未来予想図シート  	前時までで調べたことをふまえて、未来年表を作成するワークに用います。小学校卒業をスタートとしてすごろくのような形で書き進めていくことを想定してシートを作成しています。ゴール部分は「結婚」「就職」など、各児童が選べるように空欄にしてあります。 【必要部数】 各児童に 1 枚（B4 に印刷）
4-1．ガベル（木槌） 	「ほしい力オークション」で使う補助的な教具です。オークション会場のような臨場感を出すために、用意できそうであればご準備ください。 【必要部数】 教師用に1セット

4-2. ほしい力カード   	「ほしい力オークション」で用いる教具です。黒板に掲示するための短冊形（大サイズ）とオークションで競り落とした児童に渡すカードタイプ（小サイズ）の 2 種類用意しています。 大サイズは、A4 サイズに印刷のうえ、ラミネートして、線に沿って切ってください。裏面に磁石を貼りつけて、黒板に貼れるようにしてください。 小サイズは、A4 サイズに印刷のうえ、ラミネートして、線に沿って切ってください。カードの角で児童がケガをしないように、角丸パンチなどで角を丸くする加工ができれば安心です。 【必要部数】（大サイズ）黒板掲示用に 1 セット （小サイズ）児童配布用に 1～3セット
4-3. オークションワークシート  10歳のハローワーク 「自分につけたい この力」オークションリスト 年（ ） ＊ 自分がほしい力は、1人 1～3つまでチップと交かんできます。 ＊ チップは、1人 10枚いまで使えます。 ＊ 一番ほしい力に、チップを多く使う方がいいです。 ＊ オークションが始まったら、予定していたチップの数を変えてもよいです。 ＊ オークションでは、チップを一番多く使った人が、その力を手に入れることができます。 <<チップ10まい分で、どんな力を買いたいのか自分で予定を立ててみましょう。>> 番号 / 自分につけたい力 / 使う予定のチップ数 1 勉強が楽しくできる力 2 毎日きそく正しい生活をおくれる力 3 自分の意見を言う力 4 イヤなことでもガマンできる力 5 ダメなことを「ダメ！」と言える力 6 もめごとを解決できる力 7 相手の気持ちを考える力 8 イヤなことは「イヤ」と言える力 9 将来の夢をもち続ける力 10 だれかを助けることができる力 11 自分自身を好きになれる力 12 ちがいを認め、受け入れる力	「ほしい力オークション」の際に、今の自分に必要な力を考えるために使います。オークションで出てくる力の一覧表を見ながら、どんな力を買いたいのかを事前に計画するために使います。 【必要部数】各児童に 1 枚（2in1 設定で B4 に印刷）
4-4. チップ 	「ほしい力オークション」の際に、お金の代わりに使う教具です。コイン型のものをご準備いただければ、よりリアルになりますが、印刷でも対応できるようPDF ファイルも用意しています。PDF ファイルは、ダウンロードして A4 サイズに印刷のうえ、ラミネートして線に沿って切ってください。（ケント紙などに印刷すればラミネート作業を省略することもできます） 【必要部数】各児童に 1 シート（A4 に印刷）
4-5. 振り返りシート  年 組 番（ ） オークションで手に入れたい力 ほしかった理由 その力を現実のものにするために、今日からがんばること	「ほしい力オークション」終了後に、オークションで手に入れた力を本当の力にするために、今日からできること・頑張りたいことを考えて、記入するのに使います。 【必要部数】各児童に 1 枚（A4 に印刷）

5-1．10 歳のわたしシート  	「今」の自分を整理するために、好きなものや周りにいる人、大切なものなど、今の自分に関することを整理するために使うシートです。 【必要部数】各児童に 1 枚（B4 に印刷）
5-2-1．自分史作成シート  	自分史作成の際に、誕生をスタートとしてすごろくのような形で書き進めていくことを想定してシートを作成しています。ゴール部分は現在（小学校4年生）ですが、どの学年でも活用できるように空欄にしてあります。 「10 歳のわたしシート」（5-1）「未来予想図シート」（3－1）と大きさがそろっているので、つなげたり、同じファイルに入れたりすれば「過去・現在・未来」が通覧できるようになります。 【必要部数】 各児童に 1 枚（B4に印刷）
5-2-2．自分史作成用のメモ  	自分史作成にあたって、過去 10 年を振り返るための補助的なシートです。振り返りが難しい児童には、4 年生から 1 年生へと逆算しながら、メモづくりができるよう促せるデザインにしてあります。 また、自分史作成の目的は、すべての空欄を埋めることではなく、どの部分が空白で、何に立ち止まり、どのような感情で過去を見つめる自分がいるのかを捉えることにあります。知られたくないことがある場合や、書けない場合は無理に空欄を埋める必要がないということも児童に伝えたうえで、ご活用ください。 【必要部数】各児童に 1 枚（A4 に印刷）
6－1．10 年後の自分への手紙  	現在、未来、過去をみつめてきた本単元のまとめとしての、10 年後の自分に宛てて手紙を書く活動に用います。 【必要部数】各児童に 1 枚（A4 に印刷）

※本教材・教具は、別所美佐子先生はじめとする大阪市立生野南小学校（現・田島南小学校）の先生方によって開発された単元「10歳のハローワーク」の実践を踏まえつつ、普及版として作成いたしました。作成にあたって、様々なご支援をくださった皆様に、感謝申し上げます。

※本教材・教具は、 SMBC 京大スタジオにおける共同事業「貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発と普及」（通称:「『生きる』教育」プロジェクト）の一環として作成いたしました。作成は、下記の者が担当いたしました。

田野茜、飯塚喜久乃、多田理紗子、田原聡美、奥村旅人、山本尚毅、西岡加名恵

※この教具セットに関するお問い合わせは下記までお願いします。

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター E.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト事務局

〒606-8501

京都市左京区吉田本町京都大学大学院教育学研究科

E-mail e-forum.ikiru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp